

# 第5期雄武町総合計画 前期実施計画書 兼 事務事業事後評価調書

No. 0501012

政策目標	2	ぬくもり・雄武	会計区分	1	一般会計	【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	6	保健・医療の充実	事業優先度	A		
単位施策	3	母子保健の充実	政策事務分類	3	単独自治事務(その他)	
事業名	女性の健康づくり支援事業		見直し年度	平成24年度		
事業期間	平成24年度		担当課	5	保健福祉課	
事業主体	雄武町		関係課	#N/A		
事業指標	女性の健康診査受診率		関係課	#N/A		
事業目標	50%		ハード/ソフト 事業区分	2	ソフト事業	
住民参加	1		関係例規・法令名	⇒		
住民協働			関係個別計画名	2		

全体計画 事業内容		平成 20 年度 事業内容	平成 21 年度 事業内容	平成 22 年度 事業内容	平成 23 年度 事業内容	平成 24 年度 事業内容
計画 内容	思春期から青年期、更年期のライフサイクルに応じて妊娠・出産等の大きな健康課題を抱える女性が生涯を通じて健康で充実した生活を送ることを支援することを目的に、健康相談、健康診査費用の助成を実施する。					
	・女性の健康相談事業 ・女性の健康診査費助成					
計画 事業費	事業費(千円)	200	0	0	0	200
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
その他	0					
一般財源	200					200
実績 事業費	事業費(千円)	198	0	0	0	198
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
その他	0					
一般財源	198					198
関連 事項	(特定財源の詳細等)		(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)
	【評価・実績】		※前年度評価結果	※前年度評価結果	※前年度評価結果	※前年度評価結果
	第4期総合計画関連 (継続無し)	年度目標値				無料クーポン券利用率
		年度達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
	全体達成率	0%	0%	0%	0%	99%
	事業進捗状況					☆☆☆

事業名	女性の健康づくり支援事業	評価者 管理職 職氏名	保健福祉課長	山崎 佳之
		評価者 作成者 職氏名	保健係長	佐々木 希美枝

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	主に思春期から更年期にかかる女性		望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	一般健診無料クーポン券利用率	
【抱える課題やニーズは】	妊娠・出産などの大きな健康課題を抱えるとともに、思春期・更年期等のライフステージにおける健康課題がある			指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	ライフステージに応じた健康課題に適切に対応し健康的で充実した生活を送ることができる		① 一般健診無料クーポン券利用率	目標年度	平成24年度
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	ライフステージに応じた健康課題を解決できる			目標値	50%
				実績値	45.8%
				達成度	91.6%
			②	目標年度	年度
				目標値	
				実績値	
				達成度	#DIV/0! %
【内容(どのような手段で何をを行ったか)】	女性の健康づくりに資する事業の実施	子育て講話、家庭訪問等個別支援を実施し、子育てや女性の健康づくりに資する知識や意識の啓発を行った。			
	一般健診受診費用の助成の実施	女性の厄年(33歳)、年女(36歳)の方に対し一般健診受診の無料クーポン券を送付した。			

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

概ね必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	本事務事業としての実施義務はないが、女性にはライフステージにおいて心身に大きな変化が起こる特徴を踏まえ、特徴に即した支援が必要と考える。
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

概ね有効	設定した目標値の達成状況		事業の参加者は子育て期の女性が多く、助産師・保健師・栄養士の支援を適宜受けられる事で目標をほぼ達成することができた。今後は思春期や更年期等子育て期以外の女性にも活用されるよう拡大を図り、事業の有効性を高めていきたい。
有効/概ね有効/課題あり	<input type="checkbox"/>	達成	
	<input checked="" type="checkbox"/>	ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由		子育て支援センター等関係機関との連携により、事業のニーズの高い対象層への事業提供は効率化を図ることができた。
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
	<input type="checkbox"/>	人員削減	
	<input checked="" type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

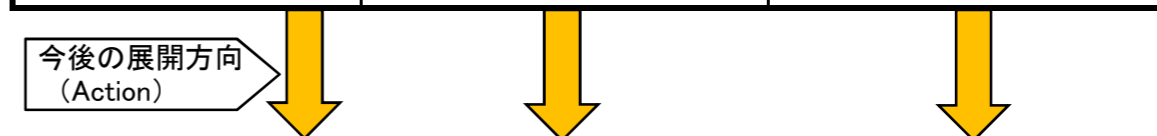
公平	判断の理由		事業の実施にあたっては、広報や町ホームページで周知し公平性の確保に努めた。
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等  
 B: ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等  
 C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等  
 D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
健診受診率や、事業参加者数は概ね目標を達成することができた。		



継続/現状維持		
今後も助産師の専門性を生かした講話や個別支援の機会を確保するとともに、無料クーポン券の利用を促進し、生涯にわたる健康づくりの支援に努める。		

※展開方向の区分  
 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更  
 終了  休止  廃止